

令和5年12月

職業訓練実施機関 各位

令和6年度の訓練カリキュラム設定にあたってのお願い等について

富山労働局職業安定部訓練課

(独) 高齢・障害・求職者雇用支援機構

富山支部求職者支援課

公的職業訓練につきましては、平素より格別のご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、令和5年10月26日に開催されました令和5年度第1回「富山県地域職業能力開発促進協議会」において、訓練カリキュラム等の改善を図るための改善促進策が下記のとおり承認されました。

本改善促進策は、デジタル分野職業訓練生の就職を促進することを目的に、実施するものです。職業訓練実施機関各位におかれましては、(1)では訓練カリキュラムの設定について、(2)ではハローワークとの一層の連携についてご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

(1) コミュニケーション能力の養成

求人ニーズのコミュニケーション能力を養成するため、以下取組のうち、いずれかを単独または複数を組み合わせて実施する。

- ・実際の作業を想定したグループによる開発演習を訓練カリキュラムに導入。
- ・訓練施設のキャリアコンサルティングで、コミュニケーションの重要性を教示。
- ・コミュニケーション能力をテーマとした職業講話の実施。

なお、実施時期について、以下のとおり反映する。

求職者支援訓練 … 令和6年度第1四半期分カリキュラムから反映

(2) 訓練受講希望者に対する柔軟な職種選択への支援

ハローワークでは、積極的に訓練施設を訪問するとともに、訓練施設との連携を深め、デジタル業界の求人ニーズを共有する。そのうえで、訓練受講希望者に求人ニーズを明確

に提示し、就職へのミスマッチを防ぐ。

なお、デジタル業界に限らず、多くの業界でデジタル人材に需要があることから、ハローワーク相談窓口では応募職種を柔軟に選択できるような支援を行い、多業種への就職あっせんに配慮する。また、ハローワーク求人窓口では、デジタル分野の求人に限らず、他業種の求人についてもデジタル人材へのニーズを確認する。

(3) リスキリング能力の養成

デジタル分野業界において、リスキリング能力が問われるところ、ハローワーク相談窓口で訓練受講希望者に対し、「職場における学び・学び直し促進ガイドライン」をもとに、自立的・主体的な学びを周知、勧奨する。

また、リスキリング支援制度（※）について、労働局訓練課と県労働政策課では各業界団体に対して、ハローワークでは個別企業に対して周知・勧奨しているところ、本取組を継続する。

（※）人材開発支援助成金…事業主等が雇用する労働者に対して計画に沿って訓練を実施した場合や、教育訓練休暇等の制度を導入し、その制度を労働者に適用した場合に、訓練経費や訓練期間中の賃金の一部等を助成する制度。

とやまリスキリング補助金…人材開発支援助成金の対象とならない短期間（10時間未満）の教育訓練に対して、訓練経費や訓練期間中の賃金の一部を補助する制度。

「富山県地域職業能力開発促進協議会」とは？

令和4年10月1日に施行した改正職業能力開発促進法において、新たに法定化された職業訓練に関する協議会です。富山労働局、富山県、高齢・障害・求職者雇用支援機構富山支部を事務局としています。

地域の関係者・関係機関に参画いただき、デジタル化など、地域のニーズを反映した訓練コースを促進するとともに、訓練効果の把握・検証を行い、訓練内容の改善を図ることを目的としています。

今年度は、デジタル分野職業訓練を対象に、下部組織のワーキンググループにおいて訓練効果の把握・検証を行いました。複数の訓練実施機関には、すでに効果検証のためのヒアリングにご協力をいただいています。